



実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2019 年 12 月 25 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高知県立大方高等学校
代表者名	大西雅人
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくするタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	「高校生が作る地区防災計画」
電話番号	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9
メールアドレス	ogata-h@kochinet.ed.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	本校は高知県の黒潮町にある唯一の高等学校である。南海トラフ地震における甚大な被害が予想されるなかで、防災教育に力を入れている。地域から協力を得やすい環境を活かし、近隣にある役場、保育園、小学校、中学校、地域住民との連携した防災活動に取り組んでいる。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	(代表) 校長：大西雅人 (担当) 教頭：上原健 教諭：浦田友香 近森美保
活動地域	高知県幡多郡黒潮町
活動開始時期・結成時期	2 0 1 6 年
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴(チャレンジプラン以外も含む)をご記入ください	(2016 年)「世界津波の日」高校生津波サミット議長校 (2018 年) 防災教育チャレンジプラン優秀賞

プラン全体の概要	<p>黒潮町では 2015 年から町内 61 地区において地区防災計画の策定を推進している。生徒在校時に被災した場合の本校を中心とした仮のコミュニティを想定し、高校生が中心となって防災計画を充実させることに取り組んだ。</p> <p>今年度は地域に積極的に出向き、昨年度の活動をより実践的に発展させ、その活動の中で生徒の防災意識や地域貢献への意識を育てたいと考えている。</p>
----------	---



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・教員防災教育プロジェクトチームを編成 ・「地域学入門」「地域学Ⅰ」「地域学Ⅱ」の指導計画を作成 ・生徒防災委員会を編成 		
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育プロジェクトチーム会（月1回） 		<ul style="list-style-type: none"> ・保小中高合同避難訓練&交流会を実施 ・第1回炊き出し訓練
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育プロジェクトチーム会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象のクイズ大会のクイズを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズチャンピオンの運営に参加
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育プロジェクトチーム会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのオリジナルHUG実践から、マニュアルや備蓄品に対する改善案を考える。 ・逃げトレ事前学習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの改善案を黒潮町役場へ提言 ・逃げトレを用いた避難訓練① ・福祉避難所におけるオリジナルHUG実践 ・逃げトレ訓練①の住民の方に対する報告会
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・AMD A 中学高校生会との交流会での取組発表準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・AMD A 中学高校生会との交流会にて防災の取組発表と炊き出し訓練
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育プロジェクトチーム会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での出張HUGに向け、発表準備 ・小学生への出前授業のための防災カルタづくりスタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町総合避難訓練に参加。全校生徒でオリジナルHUG実践
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育プロジェクトチーム会（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県津波サミットでの発表準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校への出張HUG ・メキシコ行政官の方との防



			<p>災交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県高校生津波サミットに参加 ・京都大学准教授の伊藤喜宏先生のご講演&メキシコ行政官の方との勉強会 ・逃げトレを用いた避難訓練② ・逃げトレを用いた避難訓練③
11月	・防災教育プロジェクトチーム会（月1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町地区防災計画シンポジウムにむけての発表準備 ・夜間避難所運営訓練の準備 ・逃げトレ訓練の結果検証会 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町地区防災計画シンポジウムにて発表 ・夜間避難所運営訓練 ・逃げトレを用いた訓練の報告会
12月	・防災教育プロジェクトチーム会（月1回）	・ロコクロ体操講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市の小学生への出前授業 ・黒潮町ボランティアフェスティバルにて取組発表
1月	・防災教育プロジェクトチーム会（月1回）	・みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会での発表準備	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町福祉避難所開設・運営訓練 ・みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会に参加
2月	・防災教育プロジェクトチーム会（月1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の準備 ・逃げトレ訓練の報告会準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校への出前授業 ・聴覚障がい者対象の防災学習会 ・逃げトレ訓練の報告会 ・JICAとの交流会
3月	・防災教育プロジェクトチーム会（月1回）		



<p>プラン全体の反省点・課題・感想</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジプランの中で始めた活動を継続していくことが大きな課題である。そのために防災活動の年間行事予定の確立と、教科の授業と防災を関連させるカリキュラムが必要である。 ・これまでの活動をなぞるだけでなく、新たな視点で防災活動を計画して行くことが必要である。そのためには絶えず地域住民の方や町役場の方との連携を続けていく必要がある。 ・生徒が出した防災活動の案の中には、年度内に行動にまで移せなかったものが多くある。それを次年度後輩たちに引き継いでいく工夫が必要となる。 <p>【感想】</p> <p>昨年度からの取組を地域の方に広く知っていただくことができ、防災活動を地域と連携して行いやすい環境が整ったことが成果として挙げられる。地域住民の方、近隣の小学校や中学校、町役場、周辺の指定避難所と協働した活動を数多く行うことができた。</p> <p>また、学校外の方々との関わりのなかで、生徒たちが防災に対しての関心と責任感を持ち始める様子が見られ、大きな教育効果が挙げられたと感じている。</p> <p>黒潮町の課題でもある要配慮者の方に対する支援についても、わずかではあるが関わることができた。一つ一つは小さなことであるが、一人ひとりの不安を少しでも解消するような活動を、これからも行っていきたい。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に防災カルタを用いた近隣の小学校への出前授業を計画している。 ・来年度以降も、防災に関する地域課題を町役場や住民の方と一緒に考える場を設ける。